

平生町

第181号

議会だより



(佐賀小学校 令和8年7月9日)

いらっしゃいませ！私たちが育てた野菜です！

- P 2-4 定例会・決議・補正予算・請願
- P 5-8 いっぱん質問
- P 9 議員の仕事ってなあに？
- P 10 議会の動き

2026年8月7日発行

6月議会報告

定例会

6/15～23 (9日間)



こちらからも
← 議会だよりが
ご覧いただけます



第3回 定例会

令和8年第3回平生町議会定例会が、6月15日から23日までの9日間の日程で開かれました。発議1件、承認2件、補正予算1件、条例1件、事件3件、同意6件、請願1件が上程され、それぞれ議決されました。結果は3ページ下段に掲載。また、報告2件も上程されました。

発議

- ▽上関町における使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画に反対する決議
- ▼3ページに詳細を掲載。

専決処分の承認

- ▽平生町税賦課徴収条例の一部を改正する条例
- ▼関連する法律等の改正が施行されたことにより、緊急に執行を要するもの。

- ▽平生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- ▼関連する法律等の改正が施行されたことにより、緊急に執行を要するもの。

補正予算

- ▽病児・病後児保育事業
- ▼交付金交付要綱の改正による補助基準額の引き上げ。
326万4千円

- ▽トイレトラック集合訓練参加

- ▼災害派遣トイレネットワークの集合訓練。京都府亀岡運動公園（西日本地区）集合。
9月24日から3日間。
15万4千円

- ▽学校の屋内運動場に設置する移動式冷房機器のレンタル
- ▼佐賀小・平生小・平生中の体育館に設置。
133万2千円

移動式冷房機器



条例

- ▽地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例

- ▼事業者が作成する整備計画の認定期限を2年間延長するもの。

事件

- ▽工事請負契約の締結について（変更）

- ▼平生町体育館改修工事の変更。経年劣化しているため体育館裏ステージ横の出入口扉を追加で改修するもの。
追加150万9,200円

- ▽物品の買入れについて

- ▼小中学校（教職員含）で使用するGIGAスクール用端末（レノボ社クロームブック）692台。
3,806万円

クロームブック



- ▽物品の買入れについて
- ▼小型動力ポンプ付積載車1台
1,647万8千円

請願

- ▽上関町における中間貯蔵施設

設置について事業者及び国から説明を求める請願

- ▼町長から事業者及び国に対し、正確かつ詳細で責任ある説明を行うよう、強く求めるよう請願するもの。
4ページに詳細を掲載。

同意

- ▽平生町農業委員会委員の任命について

- ▼3年任期の6名の任命について同意。

報告

- ▽令和7年度平生町一般会計繰越明許費繰越額の報告について

- ▼総務管理費、児童福祉費、農業費、水産業費、道路橋梁費、保健体育費の一部を、令和8年度へ繰り越すこととなった。
合計3億4,784万円

- ▽令和7年度平生町下水道事業会計予算繰越額について

- ▼下水道事業会計の一部を、令和8年度へ繰り越すこととなった。
合計5,990万円

上関町で計画されている使用済み核燃料の中間貯蔵施設は、原子力発電所の使用済み核燃料を50年保管するとされている。しかし、使用済み核燃料を再処理してプルトニウムやウランを取り出す「核燃料サイクル」の実現が見通せない現状において、中間貯蔵施設からの搬出先がないことは現時点で明らかであり、「最終貯蔵施設」になる可能性が極めて高い。

使用済み核燃料は極めて高い放射線を持つ危険な物質であり、もし、中間貯蔵施設やその運搬経路において事故やその他の不測の事態が生じれば、上関町民はもとより、隣接する平生町を含む周辺市町、山口県、さらには瀬戸内海一帯の住民の生命、財産、そして平穏な暮らしを脅かすものである。これほど広範な地域に影響を及ぼす重大な問題を、上関町単独で判断し進めることは、町民の生命と安全を守る責任、そして平生町の未来を次世代へ引き継ぐ責任という観点から到底容認できるものではない。

町民に選ばれた代表として子どもたちの未来を守り、住民の不安を取り除き、誰もが安心して暮らせる生活環境を次の世代に引き継ぐことは、私たち議員の極めて重要かつ当然の責務である。

よって、平生町議会は、上関町における使用済み核燃料中間貯蔵施設の建設計画に反対することを、ここに決議する。

反対討論（要旨）

河藤泰明議員

数値や文言・内容について裏づけを取り、適切な方法で町民に対して正確に伝えなければならぬ。誤解を招くようなことはしてはならない。

河内山宏充議員

町民のみならずの安全や未来を憂慮する提案議員の動機は理解できるが、他自治体の固有の事務に対する不当な介入であり、地方自治法に反する。また、議決機関としての判断材料が著しく不足しており、時期尚早である。

平岡正一議員

平生町議会はこれまで上関原発問題で建設促進・反対を求める陳情計5件を全会一致で不採択とし、他町の政策に意思表示はしてきてない。今回も同様の立場を堅持すべき。また、憲法の地方自治の規定からも、他の自治体の自治権を尊重することが求められている。

令和8年第3回平生町議会 定例会採決結果

○：賛成 ●：賛成しない

★賛否同数の場合は中村武央議長が決することになります。

提出議案と主な内容		原真紀	長尾忠明	中村一幸	中本敦子	中川裕之	河藤泰明	岩本ひろ子	河内山宏充	平岡正一	細田留美子	採決結果
発議第1号	上関町における使用済み核燃料中間貯蔵施設建設計画に反対する決議	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	否決
議案第25号	令和8年度平生町一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第26号	地域再生法に係る固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	工事請負契約の締結について（変更）平生町体育館改修工事	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	物品の買入れについてGIGAスクール用端末	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第29号	物品の買入れについて小型動力ポンプ付積載車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第1号	上関町における中間貯蔵施設設置について事業者及び国から説明を求める請願	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

常任委員会審査報告

産業文教常任委員会

本会議から付託された案件の審査を6月17日に行い、全て全会一致で可決すべきとなりました。

主だった質疑

質 議案第26号について、これまでの実績と、期間を2年延長することでのメリットは。

答 実績はないが、本社機能の移転を考えている企業に向けて、本町も選択肢となることがメリットの一つになる。

質 議案27号について、変更にした理由と繰越しは当初から見込んだものか。

答 改修工事に伴う施設全体の点検の中で、経年劣化による腐食が著しく、防犯上支障をきたす状況にあることが確認されたため。繰越しは工事の中で手戻りなどがあることを見込んだもの。

総務厚生常任委員会

本会議から付託された案件の審査を6月18日に行い、発議は、全会一致で否決すべき、議案は、全て全会一致で可決すべきとなりました。請願は賛成多数で採択すべきとなりました。

主だった質疑

質 発議第1号について標題に「使用済み核燃料」ではなく、「使用済み核燃料」とした理由は何か。

答 原子力発電で使用された後の放射能を含む使用済み核燃料と認識しているため。

質 上関町における中間貯蔵施設に関する事案が、地方自治法上の本町の事務に含まれるとする判断があったのか。

答 町民の生命、財産、暮らしに直接影響を及ぼす可能性があり、町民の安全を守ることは権限外だとは思っていない。

質 トイレトラック導入後の支援実績及び訓練にあたって期待するデータ収集は何か。

答 納車後の支援実績はない。この訓練を機会に長距離移動における車両性能及び運転者の疲労度、現場での各自治体の工夫などの情報収集・情報交換を期待している。

上関町における中間貯蔵施設設置について事業者及び国からの説明を求める請願

(主旨) 上関町における使用済み核燃料中間貯蔵施設の設置について、平生町長から事業者及び国に対し、正確かつ詳細で責任ある説明を行うよう、強く求めていただくよう請願します。(平生町商工会)

反対討論

説明を求めるといふ体裁を議会として採択することは、説明次第では、賛成もあり得るといふ姿勢を町議会として公式に示すことになる。

(原真紀議員)

賛成討論

住民が適切に判断するための情報提供と十分な議論の場を求めている極めて理性的かつ穏当な内容である。

(河内山宏充議員)

賛成討論

原子力政策は広範囲に影響があるという観点から、いろんな立場で勉強していく必要がある。

(平岡正一議員)

議員研修報告

場所：JIAM全国市町村国際文化研修所

受講日	研修内容	受講者
4月20～21日	対話と挑戦で切り開く自治体経営	河内山宏充 中川裕之
4月22～24日	過去の災害の教訓をこれからに活かすために 災害時・復旧・復興期の執行機関の取組み	河藤泰明
5月14～15日	地域共生社会の課題と展望 孤立を生まない地域づくり	平岡正一 細田留美子 原真紀
5月18～19日	自治体決算の基本と実践	中村一幸 長尾忠明

質問 めくもりある平生町の今とこれからについて

答弁 課題解決のため 3 期目を目指す



河藤 泰明 議員
かわふじ やすあき

質問

2 期目の任期もあと半年となった。国難の中、多くの事業に取り組み、町民の幸せのため、尽力された。議会に対して、いつも笑顔で説明してきた。今日までの総括と、残り半年への思い、そして、その先への決意を問う。

また、少なくない町民の方が、体調面を心配しているがどうか。

答弁

町長

2 期目は「みんながつながるまちづくり」で四本柱を公約に掲げた。

その中でも地域防災力の強化に向けて平生町防災公園等整備に着手、モビリティトイレの導入に力を入れた。喫緊の課題がたくさん残っている。

これらのことを考えると 3 期目を目指して頑張っていきたい。

健康面では、先日病院で受けた検査の結果は良好であった。



三期目を目指す浅本町長

質問 高齢者対策について

答弁 環境を整えていく



岩本 ひろ子 議員
いわもと

質問

今日の高齢者は多様化している。学びや健康づくりに意欲ある高齢者は多く、人生 100 年時代において生涯にわたる学習機会を充実させることは極めて有益である。

① 豊かな長寿命社会を築く拠点として学ぶ場である「高齢者学級」を設けてはどうか。

② 自分の健康状態を記録して、自主的な健康管理を行うための「健康手帳」を配布してはどうか。

③ 現行のタクシーなどの乗車費用の補助制度の条件を緩和し、誰もが健康で活発に社会参加できるまちづくりを進めるための新たな

「外出支援サービス事業」はできないか。

答弁

町長

高齢化社会において生涯にわたって学び活躍できる環境を整えることは極めて重要である。

① 高齢者学級に関することは、生涯学習まちづくり出前講座の開催を行っている。また、各地域交流センターにおいても多彩な講座が開催されている。

② 「健康手帳」の配布は行っていない。

③ 高齢者外出支援サービス事業は、高齢者や障がい者の外出支援としてバス・タクシー共通助成券を交付している。サポート事業として地域住民と行政と協働して取組むお出かけ支援事業を実施している。10 月からは、公共ライندシェア実証運行事業を開始する予定。



原 真紀 議員
はら まき

その他の質問

・水道の高料金対策、県への要望は

質問 学校給食コーディネーターの配置を検討すべきでは

答弁 今後の研究課題としたい



平生町の三ツ星野菜ブランド

質問 農業振興と地産地消について
①田布施町学校給食センターとの共同調理移行に伴う、ひらお特産品センターの売上や地場産食材使用割合への影響と地産地消維持への対応は。
②平生町産イタリア野菜の学校給食活用や、オーガニック給食マップ登録はできないか。
③地域おこし協力隊を学校給食コーディネーターとして配置し、農業振興とイタリア野菜の生産拡大に特化した募集・活用を検討できないか。

答弁 町長
①ひらお特産品センター全体の年間売上の内、学校給食へは、令和6年度決算で106万2千円である。維持についてはセンター機能強化に向け関係者と話し合いながら支援策を検討していく。
②活用については学校給食センターの需要に合わせた作付けや生産者間の連携が必要。
マップ登録は貴重な提案と受止める。
③協力隊員の募集では3年後の定住を見据えた受入れ体制の整備が必要、今後の研究課題としたい。

答弁 教育長
②学校給食の持続可能な食材として提供できる体制づくりを田布施町学校給食センターと連携して取り組む。
オーガニック給食についても関係課と連携しながら地域において理解や機運の醸成を図っていきたい。

質問 住民向けシンポジウムの開催予定は

答弁 やっていく方向で検討

質問 上関町の使用済み核燃料中間貯蔵施設計画について、町長の姿勢を問う。
①柳井市・田布施町・周防大島町との1市3町首長会議の開催状況と協議内容は。
②国・資源エネルギー庁訪問の具体的な予定
③事業者の事業計画提示を待つとする町長の方針の理由は。
④推進・慎重双方の立場による住民向けシンポジウムの開催検討状況と住民の不安に対する町の対応状況について。

再質問 シンポジウムの開催について1市3町での開催が無理なら、平生町単独で開催する考えはあるか。

答弁 町長
①首長会議の開催は要請しているが開催にいたっていない。
②具体的な予定はない。
③資源エネルギー庁に訪問する際、事業計画が示されていないと具体的な話とならないため。
④町民の不安や懸念に対応していくことは重要だ。
首長会議に提案したいと考えているが会議が開催されない。

再答弁 首長会議で提案したいが、平生町単独でもやっていく方向で検討していく。



細田 留美子 議員
ほそだ る み こ

質問 単身高齢世帯とケアラーの現状と課題は

答弁 国の調査を基に検討していく

質問

核家族化や未婚率の上昇、平均寿命の伸長などにより独居高齢者が全国的に増えている。

町内では2000年に高齢者夫婦世帯が648世帯、単身世帯が517世帯であった。

2020年には前者が968世帯、後者が819世帯となっている。

地域のつながりが希薄化していく中、孤立していくお年寄りが増えるのではと心配している。一人暮らしの高齢者支援の現状と課題を質問する。

次に介護をする側（ケアラー）への支援はどうなっているかを聞く。

毎年10万人の介護離職者や介護者の健康問題、周囲に助けを求めるのが不得手な男性介護者の起こす事件など多くの問題がある。支援が急がれるが町内の現状と課題をたずねる。

答弁

町長

町では一人暮らしの高齢者支援として見守り体制の構築、緊急通信システムの貸出し、権利擁護支援を実施している。

国は、身寄りのない高齢者の困り事を包括的に解決するため、相談窓口の整備や死後事務までパッケージ化したモデル事業を実施。

今年度、町では、個別支援で家庭訪問を実施しており、積極的に情報を届けるプッシュ型支援など本町の実情に即した在り方を検討していく。

介護者の負担軽減については相談が入った場合、関係各課で情報を共有し早急な家庭訪問を実施し必要な支援を行っている。

国は、ケアラーについて現状を調査している。それらの状況を踏まえて今後検討していきたい。

質問 女性に選ばれ 女性が活躍できる町に

答弁 効果的なプランを策定

質問

国は男女共同参画基本法で男女共同参画社会の実現を目指すことを、21世紀の社会を決定する最重要課題としている。

平生町でも人口減少や地域の衰退が止まらない中、重要な課題だ。

居心地の良い町にするため、この社会作りが必要だと考えるが第五次平生町総合計画での位置づけを聞く。

第四次男女共同参画プランで重点目標を8つ示している。その進捗状況を聞く。

政府は、2025年に女性版骨太方針で、女性に選ばれ女性が活躍できる地域づくりを求めている。

来年度から第五次男女共同参画プランの方針をたずねる。

再質問

県は、各事業者を回って啓発に努めている。平生町としての取り組みはどうか。

答弁

町長

第五次総合計画では本町の行財政施策の基本的な方向として定めるまちづくりの基本目標と位置づけている。

第四次男女共同参画プランでは女性活躍推進の目標値を設定。

審議会的女性委員の割合は令和7年度の目標値25.0%に対し同年に30.7%。

町職員の管理職の目標15.0%に対し令和8年4月現在26.7%と順調に増加している。他の指標は本年8月前後に予定している住民意識調査で判断する。

第五次男女共同参画プランの方向性は国・県の計画を踏まえ、人口減少や少子化対策・地域活性化に直結する施策を重点的に検討し限られた資源の中でも実効的なプラン策定を予定している。

再答弁

各事業者にも周知徹底していく必要がある。要請していきたい。



中本 敦子 議員
なかもと あつこ

質問 町民の声に考えさせられる事例を問う

答弁 町民のニーズを把握し、支援する

質問

本町では高齢者向け予防教室は盛んに開催されている。一方一人でもまたは家族と協力しながら体力、能力に合わせた運動に取り組みたいとの希望の声もある。家の周りを歩く場所ではデコボコ道で坂道では行き帰りにくたびれ、長く続かない。例えば曾根地域交流センター側の桜の木のある公園の一角に歩き良い場所を設けることはできないか。

杖の利用者でも、老人カーを押しながらでも自然の中で歩くことが出来れば嬉しい。検討できないか。

今、熱中症対策でクーリングシェルターを行政や企業などが協力している。店内を気兼ねなく歩けることは、健康作りに良く助かっている。

企業への感謝を含め、声かけはできないか。



自然の中を歩きたい

答弁 町長

お尋ねの新規ウォーキングコース設置については、町民のニーズを把握するとともに町の財政を踏まえて検討が必要である。

町民の健康推進の手段は色々あるが、屋外での活動は困難な場合もある。

令和7年度の第4次平生町健康づくり計画において、今より10分多く体を動かすプラス・テン運動を進めている。

町民の健康づくりを支援していく。

質問 平生町の変わりゆく風景、今後の予想図は

答弁 維持可能な支援をする

質問

平生町は自然の山や川、風景などの眺めが美しく人々の心を惹きつける良さがある。

現在は、農地は荒廃し、耕作放棄地が増加して、人口減少、空き家、山や川も放置されている。十数年前から要望している基盤整備も進まず、農業者の体力も減少し、2、3軒ではどうにもできない。長年関わっている行政はこの状況を十分に把握しているはず。過疎化を見て見ぬふりをするのか。太陽光のまちにするのか。現時点での農業の方針を訪ねる。

また全国で熊の出没が相次いで近隣では柳井市でも出没した。出没してからでの対応では遅く、対策や身を守る心構えも必要。新たな自然災害として県にも呼びかけるなど熊対策について問う。



残したい風景

答弁 町長

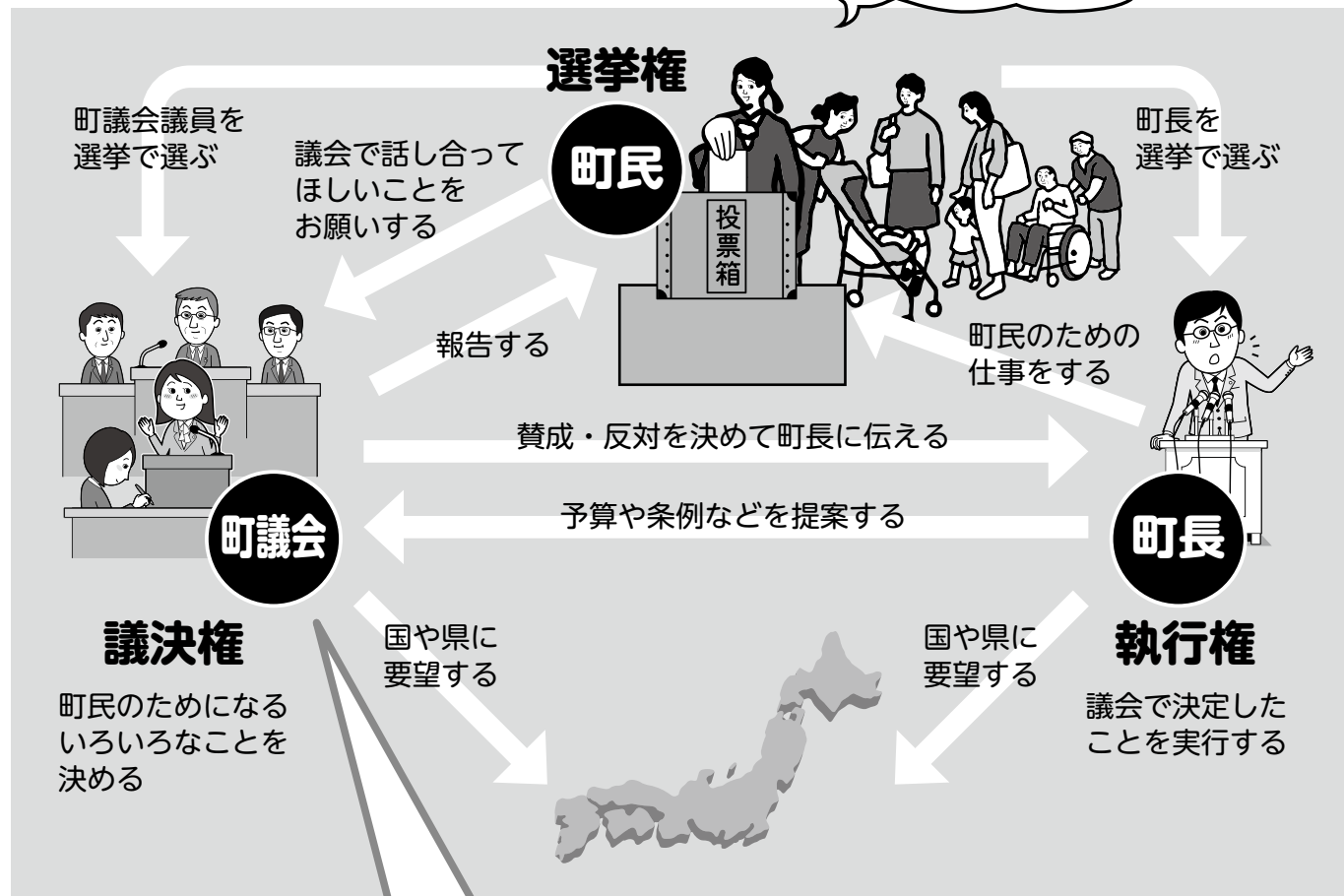
本町の豊かな自然や美しい景色を守り継承していくことは大きな地域課題である。耕作放棄地対策には、農業振興対策事業補助金で草刈りなどの経費助成や農業継承の維持管理を支援している。担い手確保では担い手となる方の支援をすることにも維持可能な農業経営を支援する。

次に有害獣対策の熊だが出没情報、注意喚起について住民に発信する体制を整えマニュアル化している。

県や関係機関と連携してあらゆる手段を講じて住民の生命財産を守る対応をしていく。

議員の仕事ってなあに？

18歳から選挙権が与えられ、投票ができます。



どのように働いているの？

議会活動

定例会（年4回）や各委員会など、行政と公式に話し合う場（公務）が、議員平均で年間44日である。社会情勢により臨時会の開催があれば出席をする。その他に、議会で話し合うために必要な準備があり、これは役割によりばらつきがある。

議員活動

各議員研修に出席、行政視察、委員会研修などへ出席。個別に議会報告会を開いたり、活動報告書を作成し配布する。町民の相談を聞くなど。

議員が普段やっていることは？

町長の提案に意見したり、町民の声や意見を反映させ、審議の過程で様々な意見を出し合います。「町民の声を行政の施策に反映させ、税金の使われ方を監視する」こと。

主な公務として定例会や委員会があり、行政と公式な場で慎重に審議し、賛成・反対を決めます。

町独自の法律（条例）を提案することも、仕事のひとつです。

その他に町民の声を確認したり近隣市町・関係各所の調査などを行い、議会で話し合うための準備を行います。

9月・12月の議会だよりでは、町議会議員選挙について特集をします。

議会に対するお問い合わせは議会事務局まで

令和8年9月定例会 会期(予定)

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
					本会議	
13	14	15	16	17	18	19
	本会議	決算委員会	決算委員会	総務厚生委員会	産業文教委員会	
20	21	22	23	24	25	26
	敬老の日	国民の休日	秋分の日		本会議	

*本会議・委員会ともに9:00開会です。

*日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

そうだ!!

傍聴に行こう!!

◆左記の平生町議会の本会議、各委員会、また全員協議会は傍聴できます。

◆議場と委員会室は、役場1号棟3階にあります。傍聴を希望される方は、直接3階の議場または委員会室にお越しください。傍聴届に必要事項記入後、傍聴席で傍聴できます。

お詫びと訂正

平生町議会だより第180号(4月24日発行)の掲載記事に誤りがありました。

なお、ホームページ上のPDF版は訂正後の記事を掲載しています。

訂正箇所	誤	正
2ページ上段 令和8年度予算総額	合計110億2,222万7千円を可決	合計116億36万6千円を可決



3階本会議場の傍聴席

- 3月6～18日 令和8年 第2回定例会
 3月6日 議会広報広聴調査特別委員会
 3月23日 議会広報広聴調査特別委員会
 3月26日 議会広報広聴調査特別委員会
 3月27日 第1回熊南総合事務組合議会
 3月27日 柳井地区広域消防組合議会第1回臨時会
 4月6日 議会広報広聴調査特別委員会
 4月14日 議会広報広聴調査特別委員会
 6月3日 議会全員協議会



議会の動き

(R8.3.6～6.3)

議会広報広聴調査特別委員会

委員長：原真紀
 副委員長：細田留美子
 委員：中川裕之
 中本敦子
 中村一幸
 長尾忠明



平生町議会6月定例会が開かれ9日間の日程で23日に閉会しました。
 地方議会は国の仕組みとは異なり二元代表制です。
 議会を形成する議員は基本的に同じスタンスで同じ志を持って町執行部と対峙して粛々と責任を果たしています。
 その議会で15年ぶりの議員発議による議案が提出されました。
 これは議員が議案を出し議員が審査します。通常の審議とは違います。
 諸事情により仕方ない歯痒いものでした。
 本来の地方議会の基本に還り議員同士がひとつに成り職責を果たしていけるように地域社会の現状が大きく変化しても安全で住みよい環境のまちづくりに最善をつくします。

中川裕之

編集後記



発行/平生町議会 〒742-1195 熊毛郡平生町大字平生町210-1 TEL 0820-56-7110
 発行責任者/中村 武央 FAX 0820-56-7109
 Email gikail@town.hirao.lg.jp
 印刷/中村印刷株式会社 編集/議会広報広聴調査特別委員会

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。